きらり☆

～松橋支援学校　広報誌～

第６５号
２０１９年
（平成３１年）
３月発行
熊本県立
松橋支援学校
〒869-0543
宇城市松橋町
南豊崎２５２
TEL 0964-32-0729
氷川分教室
〒869-4201
八代市鏡町
鏡村９３７
TEL 0965-52-3611

卒業おめでとう

梅の花がほころび、暖かな春のおとずれを感じる季節となりました。本校では３月４日（月）に高等部専門学科18人、高等部普通科氷川分教室17人、３月12日（火）には小学部３人、高等部普通科６人、計44人が学舎を巣立ちます。校訓『じょうぶで　明るく　粘り強く』のもと、３年間から12年間、仲間とたくさんのことを学んで来ました。卒業を前に、全員が進学、就職、施設の利用等の進路を決めることができました。一人一人が自信を持って、元気に活躍してほしいと願っています。地域の皆様には、多くの行事や教育活動に御支援・御協力を賜り、たくさんの思い出を作ることができました。心より感謝申し上げます。

高等部専門学科卒業式（３月４日）

全校集会（お別れ会）

２月19日（火）に全校集会を行いました。小学部、高等部普通科、高等部専門学科、高等部普通科氷川分教室の卒業する児童・生徒が発表を行いました。それぞれスライドを使って思い出を発表したり、一人一人が進路先や将来の目標を宣言するなど、思いのこもった発表がたくさんありました。氷川分教室からはテレビ会議を通じて、見やすいように模造紙に一枚ずつにまとめて、修学旅行やきらり祭（学校祭）などの思い出を、ランキング形式で発表しました。

寄宿舎お別れ会

３月４日（月）の高等部専門学科卒業式を前にして、２月28日（木）に寄宿舎のお別れ会を行いました。卒業祝いの特別メニューの夕食会のあと、実行委員の生徒の司会で、高等部専門学科８人、高等部普通科２人、小学部１人の卒業生と在舎生が向かい合い、別れの言葉や歌、在校生からのプレゼントなどがありました。卒業生一人一人からのあいさつでは、自分の成長、楽しかった思い出、職員への感謝、後輩へのメッセージなど、寄宿舎生活を振り返りながら話しました。最後に全員合唱をし、在舎生のアーチに見送られ、会場を後にしました。涙と笑いに包まれた、温かいお別れ会になりました。

W受賞!!

第一回プレゼンカップ全国大会

「ミラコン～未来を見通すコンテスト～」

２月５日（火）に、全国の肢体不自由特別支援学校高等部に在籍する生徒を対象とした、初めてのプレゼンカップ全国大会「ミラコン ～未来を見通すコンテスト～」が開催されました。この大会は、東京都立志村学園をメイン会場に、各校をインターネットで繋ぎ、全国７ブロックの各代表の生徒が、「私の描く未来マップ」というテーマでプレゼン力を競うというものでした。本校からは、九州・沖縄ブロック代表として高等部普通科１年生徒が参加しました。高等部普通科生徒や取材の報道機関の方々が見守る中、「総合的な学習の時間」で取り組んできた防災学習の成果を踏まえ、「障がいが理解される世の中になってほしいです。」と訴えました。結果は、「優秀賞（第２位）」と、観客から最も支持を集めた発表に贈られる「観客賞」を受賞しました。受賞の瞬間、少し照れながらも笑顔を見せ、大会後のインタビューでは、「２位だったけれど、普通科のみんなで作ったものなので、僕は、１位だと思ってます。」と話していました。

ボッチャ大会・・・高等部クラスマッチ

高等部普通科では、パラリンピックの正式種目「ボッチャ」競技に、体育の授業や同好会（部活動）で取り組んでいます。卒業式を前にした２月28日（木）に、普段一緒に活動することの少ない高等部専門学科と共に、クラスマッチ形式のボッチャ大会を行いました。普通科７チーム、専門学科９チームが４つのパートで予選リーグを行い、各パートの一位が決勝トーナメントに進みました。予選から接戦続きで、一投ごとに歓声や拍手が起こり、とても盛り上がりました。結果は普通科のチームが上位を占め、日頃の練習の成果を出すことができました。

全国高校総体の記念品製作

熊本県内の特別支援学校14校では、今年７・８月に熊本県をはじめ５県で開催される全国高校総体「南部九州総体２０１９」の記念品を製作しています。本校では写真立てを作り、県内で行われる競技に出場する選手などに贈られます。２月14日（木）午前には、組立・磨きの工程を終えた写真立ての塗装を、卒業を控えた高等部普通科５人と、専門学科18人の計23人で行いました。今回は、２００個以上の写真立てを蜜蝋ワックスで塗り、拭き上げまでの作業をしました。生徒同士が協力し合い、和やかな雰囲気の中、予定していた時間内にすべて仕上がりました。今年５月末までに、５００個の納品を予定しており、専門学科工芸科を中心に製作を続けていきます。